

においても、肝移植での骨壊死発生頻度を明らかにすることは重要と考えている。

さらに、移植臓器間での発生頻度に差が出た場合は骨壊死発生機序の解明に、ひとつの手がかりになるとも考えている。

参考文献

- 1) 橋倉泰彦ほか：生体部分肝移植；術式と術後免疫抑制療法を中心に Pharma Medica 1997；15：77 - 83.
- 2) Papagelopoulos P et al.:Total joint arthroplasty in orthotopic liver transplant recipients. 1996；11 :889-892.